令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号	32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	10 総務費	項	5 総務管理費	目	6 企画費	
事業番号	1176	事業名	地域おこし協力隊活用事業(起業分)			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	地域おこし協力隊(起業部門:2名)			総合計画における位置づけ	
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	着任から3~4年後に起業することを目標に、情報発信、空き家活用を任務として地域課題の解決に繋がる活動を行う。(2名分)			13 若者がはたらきたくなる会社や仕事を増やそう	
					所信表明の「5本柱」における位置づけ	
					町民みんなが暮らしやすいまちづくり	
		根拠法令・要綱等				
		地域おこし協力隊要綱(総務省)				
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,895	14					14
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
地域おこし協力隊員の共済組合負担金の不足額の補正				共済費 共済組合負担金 14千円		
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称			補正前の額	補正額	補助率等

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号	32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)				
(提案理由 及び 議案概要) (単位:千円)						
款	10 総務費	項	5 総務管理費	目	6 企画費	
事業番号	1329	事業名	地域おこし協力隊活用事業(地域おこし研究員)			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	地域おこし協力隊(地域おこし研究員:1名)			総合計画における位置づけ 13 若者がはたらきたくなる会社や仕事を増やそう	
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	慶應義塾大学SFC研究所と連携し、慶應義塾大学の大学院生を地域おこし協力隊として採用し、住民との協働を行う仕組みを検討する活動を行う。			所信表明の「5本柱」における位置づけ	
					町民みんなが暮らしやすいまちづくり	
					根拠法令・要綱等 地域おこし協力隊要綱(総務省)	
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,448	7					7
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
地域おこし研究員の共済組合負担金の不足額の補正				共済費 共済組合負担金 7千円		
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称			補正前の額	補正額	補助率等

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号	32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	10 総務費	項	5 総務管理費	目	10 交通安全対策費	
事業番号	31	事業名	交通安全対策費(一般)			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	住民	総合計画における位置づけ		27 移動も共有して安心安全な交通環境を実現しよう	
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	交通事故の無い町を目指し、交通安全指導員・関係機関と連携し、広報活動などの交通安全対策を実施し、交通法規の遵守及び交通道德の高揚を図る。加えて、運転免許自主返納者に対する支援を行うことで、運転免許自主返納を促進し、交通事故の減少を図る。	所信表明の「5本柱」における位置づけ		町民みんなが暮らしやすいまちづくり	
			根拠法令・要綱等		大山町運転免許自主返納支援事業実施要綱	
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,786	△ 89					△ 89
補正理由・事業概要			今回補正額の経費内訳			
<p>交通事故の減少を図るため、運転免許の自主返納者に対し支援を行い運転免許自主返納を促進している。支援策の一つとして運転免許の自主返納者に対し大山町デマンドバスの回数乗車券を交付している。今年度見込みを上回る申請があったため増額するもの。 R7.1末現在実績40名 補正 2,500円×10名=25,000円</p> <p>交通安全運動期間中の広報活動等に使用している交通安全指導車は、長年の使用により経年劣化が激しく、車検更新のタイミングで廃車としたため、維持管理費を減額するもの。</p>			<p>報償費 記念品等 25千円</p> <p>需用費 修繕料 △ 114千円</p>			
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称		補正前の額	補正額	補助率等	

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号	32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	10 総務費	項	5 総務管理費	目	11 公共交通対策費	
事業番号	32	事業名	路線バス維持対策費			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	大山町内のみ(単独)、または大山町を含む複数の市町村にまたがる(広域)路線を運行するバス事業者			総合計画における位置づけ	
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	輸送人員の減少のため地域住民の生活に必要なバス路線の維持が困難となっている現状に鑑み、生活交通路線の確保方策の一環として、バス路線の運行の維持等を図るための助成措置を講じ、もって地域住民の福祉を確保する			22 すでにある交通インフラ資源を暮らしの安全性や快適性につなげよう	
					所信表明の「5本柱」における位置づけ	
					町民みんなが暮らしやすいまちづくり	
					根拠法令・要綱等	
					大山町バス運行対策費補助金交付要綱	
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
30,808	1,970		1,602			368
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
【補正内容】 バス事業者の営業損益の実績に基づく町補助金の補正及び同実績に基づく歳入(県補助金)の補正。 地方バス路線維持対策補助金 (1) 広域バス路線維持費補助金確定額 19,065,723円 (2) 路線維持運行費補助金確定額 13,401,902円 計 32,467,625円 (確定額)32,467,625円 - (予算現額)30,498,000円 = (補正額)1,969,625円				負担金補助及び交付金 地方バス路線維持対策補助金 1,970千円		
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称			補正前の額	補正額	補助率等
60-10-10-5-11	広域バス路線維持費補助金			2,667	1,479	
60-10-10-5-11	生活交通体系補助金			3,357	123	

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号	32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)				
(提案理由 及び 議案概要) (単位:千円)						
款	10 総務費	項	25 統計調査費	目	2 人口統計調査費	
事業番号	63	事業名	国勢調査調査区設定			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	国勢調査			総合計画における位置づけ 33 どこにお金を使うのか、誰が担うのかを見直そう	
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	国勢調査の実施にかかる調査区等の設定を行う。			所信表明の「5本柱」における位置づけ 行財政改革による持続可能なまちづくり	
					根拠法令・要綱等	
					統計法	
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
113	1		1		0	
補正理由・事業概要			今回補正額の経費内訳			
<事業概要> 令和7年国勢調査実施にかかる調査区の設定を行う。 <補正理由> 市町村委託料の追加交付による。 交付決定額 1,000円			需用費 消耗品費 1千円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称		補正前の額	補正額	補助率等	
60-15-10-25-2	人口統計調査委託金		113	1	10/10	

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：大山公民館

議案番号	32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)				
(提案理由 及び 議案概要) (単位:千円)						
款	30 農林水産業費	項	5 農業費	目	6 農業施設運営費	
事業番号	226	事業名	大山農村環境改善センター運営費			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	地域住民	総合計画における位置づけ			
			08 公民館や図書館をもっと活用しよう			
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	大山農村環境改善センターの維持管理及び農産加工室の利便性向上を図り、地域住民の利用しやすい施設管理を行う。	所信表明の「5本柱」における位置づけ			
			町民みんなが暮らしやすいまちづくり			
			根拠法令・要綱等			
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
14,762	450					450
補正理由・事業概要			今回補正額の経費内訳			
【補正理由】 燃料費(空調用ガス・ペレット)の高騰により、不足する経費の増額補正を行う。			需用費 燃料費 450千円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称		補正前の額	補正額	補助率等	

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号	32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)				
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)
款	50 教育費	項	20 社会教育費	目	1 社会教育総務費	
事業番号	1208	事業名	集落支援員活用事業			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	地域自主組織(公民館活動)			総合計画における位置づけ	
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	地域自主組織の支援並びに地域自主組織と公民館の連携を強化するため、旧大山町・大山地区に集落支援員を配置し、大山農村環境改善センター長を兼任して地区活動を展開推進するため。地域自主組織事業と公民館事業の実施に伴い継続する。			32 地域の思いや力を発揮できる環境をつくろう	
					所信表明の「5本柱」における位置づけ	
					町民みんなが暮らしやすいまちづくり	
		根拠法令・要綱等				
		大山町地域力強化人材育成アクション実施要綱				
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,672	12					12
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
集落支援員兼農村環境改善センター長の共済組合負担金の不足による補正				共済費 共済組合負担金 12千円		
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称			補正前の額	補正額	補助率等

令和7年第2回定例会

議案説明資料

提出課：中山公民館

議案番号	32	令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号)				
(提案理由 及び 議案概要) (単位:千円)						
款	50 教育費	項	20 社会教育費	目	2 公民館費	
事業番号	329	事業名	中山公民館			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)	小中学生から高齢者まで幅広い世代を対象			総合計画における位置づけ 07 いくつになっても学び続け、行動し続けよう	
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者の明るく活力のある日々の実現、自分の住む地域の歴史や文化・自然などを見つめ直し、地域の魅力や可能性を再発見する。 文化教室、地域自主組織等の活動発表の場作り、活動意欲を高めるとともに、親睦と交流の輪を拡げる。			所信表明の「5本柱」における位置づけ	
					教育・子育て・生涯学習のまちづくり	
					根拠法令・要綱等	
補正前	今回補正額	今回補正額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
20,262	△ 251					△ 251
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳		
【補正内容】 パートタイム会計年度任用職員の時間外勤務手当が不足する見込みであり不足額の補正を行うもの 公民館警備業務委託料(シルバー人材センター分) 実績見込みによる減額				報酬 パートタイム職員時間外勤務手当 44千円 委託料 △ 295千円		
(財源内訳の詳細 単位:千円)						
款-項-目-節-細節	説明名称			補正前の額	補正額	補助率等